

イケムラレイコ展

うみのこ u mi no ko

2006年9月23日（土）－12月19日（火）



photo : Philipp von Matt

現代作家イケムラレイコは、自他をこえた記憶の深みからわきあがる、存在の根源的なかたちを、少女のような、有機体のような姿であらわします。目の粗い麻布に、薄くといった絵具を塗り重ねつくられる絵画作品は、硬質な無垢さを秘め、本質的な生への欲求とその向こう側へのまなざしを、残像のように浮かび上がらせませす。73年にスペインに渡った作家は、以後スイス、ドイツにおいて制作活動を重ねるなか、自己の核をとぎすまし、創造の動力にしてきました。80年代後半に、初期の物語的な作風から、いのちの原型をたぐる探求へと転換し、それは近年たたずみ地に臥す少女の像になり、さらに分身のような二重像、増殖する群像へと展開をみせています。本展にあたり、作家は、「うみのこ u mi no ko」というテーマを選び、絵画、ドローイング、ブロンズ彫刻、セラミック彫刻といった多彩な媒体において、より内なるところへと深化を続ける世界観を提示します。

また、展覧会初日には、作家による自らつづった詩の朗読と、映像の上映も予定しています。波に洗われ立ちあらわれる、魂の根底からのうたごえをどうぞご鑑賞ください。

詩の朗読会

対談：イケムラレイコ×小勝禮子（栃木県立近代美術館特別研究員）

2006年9月23日（土）15:00-

場所：ヴァンジ彫刻庭園美術館展示棟ホール

ものを	つくることと
つくるとは	うむことは
たましいの	おなじなのだ
ようきゅうです	それは
あーとは	あいの
げんざいの	ようきゅうで
ざせつで	たましいの
げんだいの	ようきゅうで
ばけもの	からだの
あーとするのは	ようきゅうで
げんだいの	うみのおもいに
いとなみ	つながっていく
かっこいい	
あしのよわい	
ばけもの	本展に際し出版された
あいのない	イムラレイコ詩画集『うみのこ』赤々舎 2006年
ごうまんな	より抜粋
いとなみ	